

広報

# なんたん

  
Vol.99



**【特集】府内最大級にして謎多き山城“八木城”**

**2020年**  
**2・3月号**



市公式Facebook  
市内での出来事や  
市に関する情報を  
紹介します



市公式LINE  
イベント情報や防  
災・気象情報をお  
届けします



市公式Instagram  
人や風景写真など  
を通して魅力を発  
信します



NANTANGOGRAM



# 府内最大級にして 謎多き山城 八木城

## 広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】府内最大級にして謎多き山城“八木城”**
- ⑧ **行政トピックス**
  - ・令和2年南丹市消防団出初式
  - ・令和元年度南丹市表彰式
  - ・令和2年南丹市成人式 ほか
- ⑭ **活躍する南丹市の人びと**
- ⑯ **人・この道☆ひと筋**
- ⑰ **景観の小窓**
- ⑱ **南丹市地域おこし協力隊レポート／福祉とわたし**
- ⑲ **食は、ひとづくり、まちづくり**
- ⑳ **いきいき南丹**
- ㉑ **人権の窓／ふ・れ・あ・い**
- ㉒ **図書館へようこそ!／暮らしにホッと**
- ㉓ **ぶらりなんたん**
- ㉔ **みんなのひろば**
  - ・第2回南丹まちゼミナール
  - ・2020年南丹市大堰川ジョギング大会 ほか
- ㉖ **なんたんミュージアム／わが家のアイドル**

### 今月の表紙

2月20日、京の森林文化を守り育てる事業の一環として、城山に史跡立札や「パノラマ案内板」を設置。八木町観光協会が主体となり、八木町南地区自治会の協力を得てその完成を喜びました。

登山者にも眼下に広がる素晴らしい景色が良くわかり、喜ばれるでしょう。

# 府内で最大級の八木城

全国的にお城や戦国時代ブームが到来している今、南丹市においても地域の歴史や城跡を再発見し、活用する事例が多くみられます。戦国時代、群雄割拠の時は南丹地域も例外ではありませんでした。

今回は、戦国時代に勢力を振るった内藤一族と、その居城で京都府内でも最大規模を誇る「八木城」について紹介します。

## 戦国期の丹波の動向

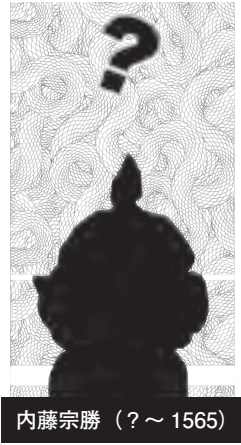
室町幕府は、将軍を頂点として地方に守護を置き、幕府の命令を各地に伝達・実行させていました。ところが、応仁の乱以降幕府の権力が弱まったことにより、各地に自らの地域の支配を進める戦国大名が登場します。武田信玄や毛利元就、織田信長もそういった経緯を経て後に戦国大名となりました。

丹波の地域には、丹波一国を治めるような戦国大名は登場しませんでした。三好政権下で丹波地方の覇権を目指した人物がいます。それが八木城を拠点として戦いを繰り広げた内藤宗勝ないとうそうしょうです。

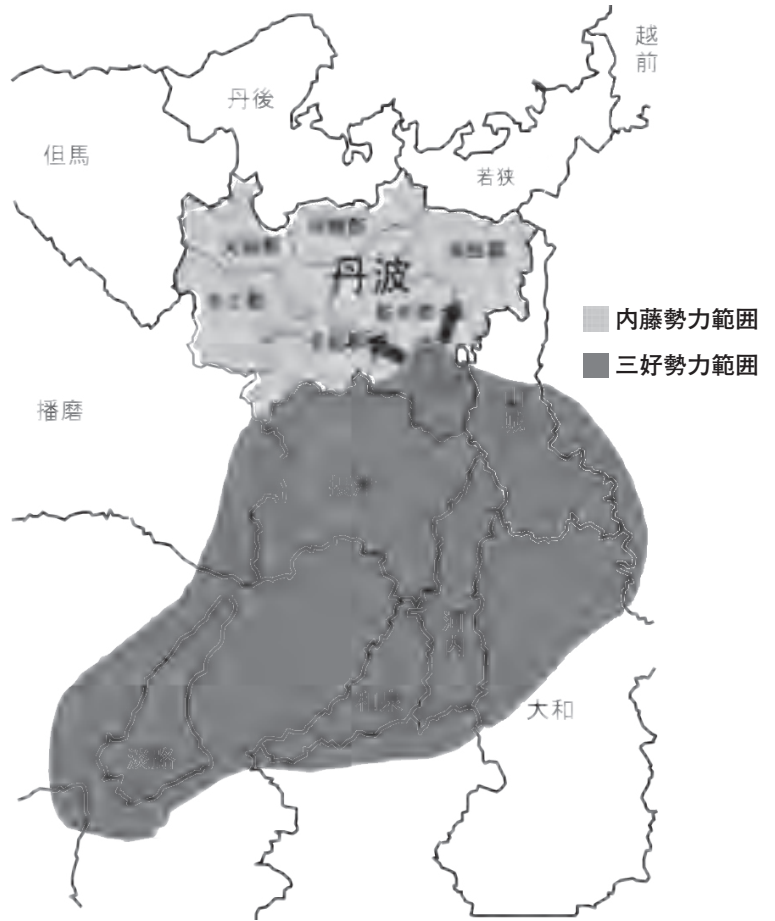


▲八木城跡から見る八木町の眺望

# 猛将・内藤宗勝



内藤宗勝は、もとは松永長頼とい、畿内(近畿地方)を治めていた三好長慶の有力家臣である松永久秀の弟です。宗勝は、代々丹波守護代だった内藤家に婿入りする形で家系を継ぎ、以降十数年にわたって丹波地方の統治を目指しました。三好氏は家臣や一族を近国に派遣し、各国を制圧しようとしていたと考えられ、宗勝(長頼)の世襲もその一環であったと推測されます。



▲三好内藤勢力図

宗勝は丹波のみならず、河内、若狭、大和にて軍事活動を展開し敵対する勢力の制圧に乗り出します。

しかし永禄8(1565)年、「丹波の赤鬼」と恐れられた荻野(赤井)直正との戦いの中討死します。宗勝の死により、再び畿内は自らの勢力拡大を目指す武将が台頭し、混乱期を迎えます。

もし宗勝が死なず、さらに勢力を拡大していれば、いずれは丹波国一帯を治める武将となっていたかもしれません。

## 戦国時代を生き抜いた内藤ジョアン

宗勝の後を継いだ息子・内藤如安(貞弘)(以下「ジョアン」)は、15歳頃に家臣らと共にキリスト教に入信し、以降ジョアンという洗礼名を名乗りキリシタン武将として父・宗勝と同じく八木城を拠点に活動しました。信長と足利義昭の関係が良好であった頃、ジョアンは信長から支援を受け、衰退して

いた内藤氏の再興を図り転戦を続けています。

元亀4(1573)年、それまで協調関係にあった信長と義昭が対立すると、ジョアンは義昭側につきまます。義昭が信長との戦いに備え支援を呼びかけた際には、ジョアンは十字架が描かれた旗と、大きくイエズス会の金文字の前立てをつけた兜を身に着け参じたことが、宣教師ルイス・フロイスの手紙に記されています。反信長を掲げた義昭ですが、同年ついに信長に攻められ京都から追放されました。

## 光秀の丹波攻略

天正3(1575)年、信長は義昭側についた内藤氏と宇津氏を討伐するために、明智光秀に丹波攻略を指示し、八木城は攻撃対象になりました。それにより内藤一族は丹波地方での力を失っていきまます。この時、光秀が攻略拠点として築いた城が亀山城です。

## 北京、加賀、

## マニラでの足跡

光秀による攻略時に八木城から離れていたと考えられるジョアンは、天正9(1581)年には、義昭のいる軻(とら)広島県にいたことが記録により判明しています。その前後の動向は不明です。そして豊臣政権に入った文禄3(1594)年頃、全国統一を果たした秀吉による朝鮮出兵の際、ジョアンはキリシタン大名である小西行長に仕えており、文禄の役(1592〜93)における明との和平交渉の任について、北京へと派遣されています。

慶長5(1600)年、関ヶ原の戦いが起こり、徳川家康率いる東軍が勝利すると、小西行長は処刑されてしまいます。主を失ったジョアンは同じキリシタンの高山右近を頼り、右近のいる加賀の前田氏の元へ身を寄せます。

ジョアンは生涯信仰を捨てず、慶長19(1614)年、幕府によってキリシタン禁教令が出されると、高山右近らと共にフィリピンのマニラへ追放されてしまいます。ジョアンはそこで長く生き延び、寛永3(1626)年、77歳で

その波乱に満ちた人生を終えました。

## ジョアンをしのぶ顕彰碑

八木城跡のふもとには高さ1mほどの十字架を模した石碑が建てられています。昭和57(1982)年に、ふるさとの偉人であるジョアンをしのんで八木城研究会が建てた顕彰碑です。同じものが、マニラの教会にも建てられています。

この建立を契機に旧八木町では、マニラ市との交流が始まりました。



▲「ジョアン内藤飛騨守忠俊 ゆかり之地」と刻まれた碑

## 丹波が誇る山城八木城跡

八木城は、八木駅の南東部に位置する山城です。南北約900m、東西約700m。一部が亀岡市にまたがる広域な山城は、京都府下でも最大級の規模を誇ります。

かつては守護代内藤氏の居城であり八上城、黒井城とならぶ丹波三大山城に数えられました。現在では登山道の整備により、約40分程度で手軽に登れる山城として多くの歴史ファンに親しまれています。山頂から放射状に広がる曲輪や防備のための堀切、石垣も見られ、頂上からは、八木大堰橋や亀岡盆地を見渡す眺望が楽しめます。



▲三大山城に数えられる八木城跡

## 今後の調査に期待

八木城の興亡については、同年代史料がなく正確なことはわかりませんが、「細川高国感状」という文書に記された「八木山合戦」が八木城であると考えられ、遅くとも16世紀前半には城郭として機能していたと考えられます。内藤宗勝、ジョアンもいた丹波国の重要拠点であった八木城は、天正3(1575)年、信長による丹波攻めの対象となり、のちに落城したと伝えられています。

平成元〜平成3(1989〜1991)年にかけて、京都縦貫道の開発にともない八木城の一部を発掘した際には、基石や硯などの出土遺物が確認されました。

しかし頂上の本丸を含む大部分はまだ発掘は行われていません。南丹市教育委員会は、今後この貴重な八木城を史跡として文化財指定するため、城跡全体の本格的な発掘調査も検討しています。

丹波の重要拠点であったにも関わらず、いまだ不明な部分も多い八木城。今後の調査により新たな歴史的事実が判明するかもしれません。

# 山城ファン必見！

## 登ってみよう

### 八木城

平成31年3月18日、無人航空機・ドローンをを用いて、赤外線による地形測量を行いました。八木城跡の地形がより鮮明となり、戦国時代の面影を感じることができます。



#### 山城豆知識



◆戦国時代の城：「城」というと姫路城などの立派な天守をイメージしますが、戦国時代の大半の城は山を削り、土を盛り上げた山城でした。

◆曲輪くるわ：城にある広場や区画のこと。山など斜面に城を建てる場合は、建てられるように斜面を平らに整えて造られます。

◆本丸ほんまる：「丸」とは曲輪のことで、城の中心にある曲輪を「本丸」といいます。二の丸や三の丸なども設けられ、方向から名付けた西の丸などの呼称も用いられる場合があります。

## 八木城跡 登山をされる方へ

城山遊歩道の大半は山道です。急斜面など危険な場所もありますので、しっかりとした服装・靴でお越しください。

### <注意事項>

- ・登山中は禁煙です。
- ・山野の植物を折ったり、引き抜いたりしないで下さい。
- ・体力に自信のない方、体調のすぐれない方などは登山をお控えください。
- ・ゴミは持ち帰ってください。
- ・他の山林に立ち入らないよう、城山の環境保護に努め、登山を楽しんでください。

### <アクセス>

JR嵯峨野線「八木駅」下車 徒歩約1km  
登山口周辺には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



## 本丸跡

眼下には亀岡盆地が広がります。



## 八木村・柴山村山論裁許絵図(部分)

南丹市立文化博物館蔵

江戸時代に山争いをした時に作成された絵図です。図中には城跡も詳細に描かれており、後年の人びとにも、この場所が城跡と認知されていたことが分かります。



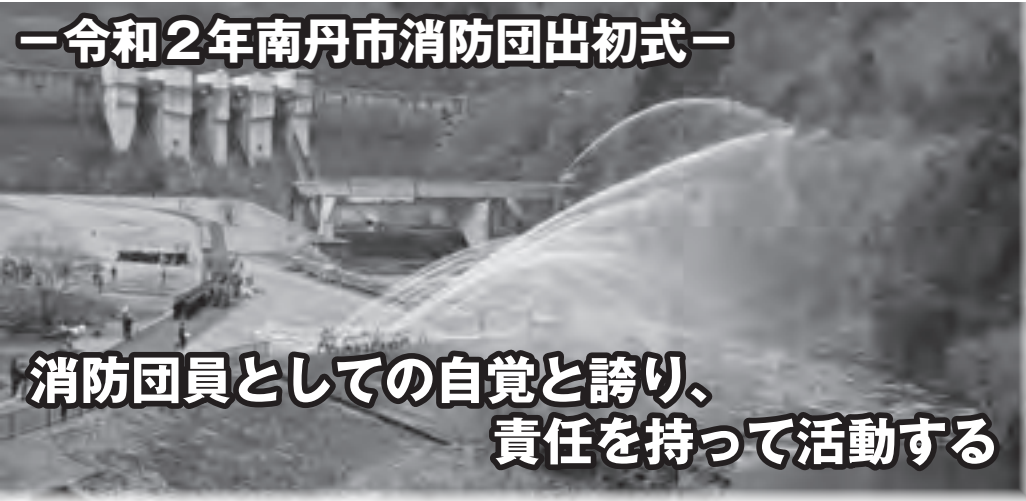
▲本丸付近に現存する石垣

◆**石垣**：石を積み上げて作った壁です。中世の城の壁は土を高く持った土塁が大半ですが、近世（織田信長・豊臣秀吉以降の時代）になると、石を積んで丈夫で崩れにくい壁に進化していきます。



▲各所で見られる堀切

◆**堀切**：城や曲輪の周りを囲むように掘った溝で、敵の侵入を防ぐ目的があります。水のあたる「水堀」や水のない「空堀」があります。



南丹市消防団出初式

1月12日、スプリングスひよし体育館で、南丹市消防団357人と、京都中部広域消防組合園部消防署47人が参加し、南丹市消防団出初式を行いました。

式では、西村市長が「近年の災害は大規模化しており、消防団の活動を地域全体でバックアップしていくる体制づくりや関係機関との連携を強め、消防防災力の向上に取り組んでいきたい」と式辞を述べました。続いて中島団長が「自分の命を守ることを地域に訴えていくことが大切。消防団活動にあたっては、二次災害を起こさないよう、十分安全に配慮し、活動いただきたい。地域の安全安心を守るという使命達成のため、ワンチームで頑張っていきたいと思います」と消防団員に呼び掛けました。

また、団員の多年にわたる勤続や功績をたたえ、京都府消防協会長表彰、南丹市長表彰、南丹市消防団長表彰などを授与しました。併せて、京都府知事表彰、消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰、丹波地方消防連絡協議会長表彰の受章者を披露しました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

喜之・仲田 佳史

■京都府消防協会会長表彰  
功績章

- 【八木】分団長▽廣瀬 薫
- 【日吉】分団長▽坂本 暁人

■功績章

- 【園部】分団長▽塚脇 健
- 【八木】分団長▽面田 武志
- 【日吉】分団長▽上段 順弘

■精進章

- 【園部】部長▽阪田 和彦・中井 雅宏
- 【八木】副分団長▽田村 貢・波部 吉宏
- 【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎・永口 智治
- 【美山】分団長▽小畑 幸洋 / 副分団長▽登立 修史

■精進章

- 【園部】副分団長▽高屋 智之 / 班長▽辻田 清人・森 清 / 団員▽今西 喜宣・野々口 健次
- 【八木】部長▽植田 剛・松本 光彦・宅間 伸二・松本 勇佑・小槻 達也
- 【日吉】部長▽吉田 智也・前田 辰彦・栃下 康弘・船越 耕司・松原 亮二
- 【美山】副分団長▽田中 久則・加藤 孝俊 / 部長▽大牧 正典・小中 藤孝俊

■南丹市長表彰  
市長章

- 【女性分団】班長▽大西 景子 / 団員▽村上 貴子・西村 智子
- 【園部】部長▽松井 一也 / 班長▽潮田 貴徳・松田 升善 / 団員▽廣野 一道・福地 貴彦・矢野 毅・村田 良智・松本 勝巳・中井 康則
- 【八木】部長▽池田 利明・川勝 裕介・今西 芳充・宅間 伸二・松本 友伸・入江 健次・中辻 文隆 / 班長▽平尾 隆裕 / 団員▽谷口 雅紀
- 【日吉】班長▽吉田 貴弘 / 団員▽松尾 勇也・磯部 勝・松尾 望・永口 真・小林 剛
- 【美山】部長▽高橋 信行 / 班長▽大秦 学 / 団員▽長田 充真・木戸 悟・東 晋也

■南丹市消防団長表彰  
団長章

- 【園部】部長▽井上 和人 / 班長▽垣村 宏明・井ノ上 大悟・井上 聡・山下 裕作・片山 浩史・奥村 幸裕 / 団員▽野口 高節・木村 研二・梅井 雅樹・小林 崇宏・梅木 俊介・牧野 恭平・奥村 勇・奥村 幸祐・大町 晃
- 【八木】部長▽谷口 卓哉・馬淵



孝則／班長▽人見一範・中川正大・山田剛・八木良幸・中川恭輔／団員▽岡崎健太郎・廣瀬健太郎・人見太一・佐々谷博司・廣瀬容大・松本勇氣・松本啓志・家垣聡太

【日吉】部長▽塩見猛／団員▽湯浅伸彦・黒伸哉・南口貴史・近藤聖人・谷尾允康・洲上吾郎・小島一真・齊藤佑

【美山】班長▽岩瀬周作・都築健一／団員▽大野琢馬・豊福晶己・大西勇・丸山剛・佐野誠俊・下仲修平・福井陽太

勤続章(20年)

【本部】副団長▽野中大樹

【園部】副団長▽仲勝／分団長▽

片山卓美／副分団長▽矢野善大・中嶋了士・足立伸二／班長▽神原行志／団員▽四方豊・岡田紀章・保田光治・山下真司・野中正人・澤田貴宣・村田良智・片山利充・高屋光男・吉田孝司・中西美徳・角豪宏・西田茂樹・内藤正己

【八木】分団長▽川勝広行／部長▽八田宜典・小槻達也／班長▽梅山陽平／団員▽丹羽文雄・齊藤博之・齊藤和則・野木真行・所修正・林秀隆・森雅彦・八木理仁

【日吉】部長▽松本修己／団員▽

坂本昌洋・矢原大二郎・岩城光輝・川隅真二・中村高士

【美山】分団長▽高畑淳司／部長▽平井幹人／班長▽岡本眞宜／団員▽中野修・藤原誉・村上豊

勤続章(10年)

【園部】副分団長▽高屋智之／班長▽阪本哲也／団員▽樋口浩之・久世拓郎・上野大祐・伊地知聖太・高屋克博・片山迪夫・岡野達朗・井尻孝文・小島和則・岡島賢峰・中井康則

【八木】部長▽大内聡・福嶋達也・住田庄平・小林一洋・平井憲太／班長▽村上明・中川正大・平野健太／団員▽川勝晋司・粟津勇一・川勝満・平井啓太・森規雄・中川慎也・浅田洋樹・竹上皓・宅間敬悟・廣瀬朋之・田中友也・八木隆晃・伊藤伸・池田寛和・面村好高・三贅泰弘・明田和紀・出畑俊一

【日吉】団員▽富沢崇志・湯浅結城・仲川元・仲川真一・岩城嘉也・和久田教文・井尻均

【美山】団員▽加地哲也・菅井彰人・大西勇・佐野誠俊・下仲修平・坂井祥吾

■京都府知事表彰(令和元年11月) 永年勤続功労章

【園部】副団長▽仲勝

【八木】分団長▽松崎正樹

【日吉】分団長▽湯浅啓史

【美山】分団長▽平川博昭

精励章

【園部】部長▽上原徹也・大面一生／団員▽稲葉貴徳・谷口誠治

【八木】副分団長▽村上裕紀／部長▽津原慎・宅間真一・八田宜典

【日吉】副分団長▽杉田秀一・榎本洋一・井尻智道・増田哲士

【美山】副分団長▽筒井一博／部長▽大下裕宣・西直人・藤田敏雄

■消防庁長官表彰(令和2年3月) 永年勤続功労章

【園部】副団長▽藤掛久士

【美山】副団長▽福本修三

■日本消防協会長表彰 (令和2年3月)

功績章

【女性分団】副分団長▽清水範子

【美山】副団長▽橋本乾一

精績章

【園部】分団長▽片山卓美

【八木】分団長▽水口敏明

【日吉】分団長▽吉田忍

【美山】分団長▽近澤幸次

勤続章(30年)

【園部】副分団長▽橋本浩二／班長▽小野田裕之／団員▽高屋一成・須知猛・奥村和彦・進士仁一

【八木】班長▽谷口文晴／団員▽浅田聡・廣瀬輝明・竹上利晴・大槻博司・家垣卓令・前田数之・谷口成敏・小森広宣

【日吉】部長▽吉田智也／班長▽澤田茂哲／団員▽石川信人・船越和幸・久野秀一・今井二郎・兒嶋利彦・山口善之・磯部朋英・筒井成美・山本伸二・芦田竜一・藤岡裕英・清水寛・宇野一俊

【美山】団員▽岩間利昭

■丹波地方消防連絡協議会会長表彰 (令和2年1月) 功労表彰

【園部】部長▽飯室勝祥／班長▽森泰彦・神原行志／団員▽村田泰伸・面田忠明

功績章

【八木】部長▽面河直浩／班長▽村上真吾／団員▽佐々木達也・小林和幸・岩谷哲也

【日吉】班長▽井尻健司・木村一夫・山口健太郎・出野徹・内藤直樹

【美山】部長▽大牧正典・平井幹人・上仲宏明・山名友紀／班長▽細尾勝

# 令和元年度南丹市表彰式

2月15日、南丹市国際交流会館で、それぞれの分野で多年にわたりご活躍された方、また、南丹市に縁故の深い方で、市政の発展や公共の福祉の推進などに、広く社会に貢献された方をたたえ、令和元年度南丹市表彰式を開催しました。

表彰式では、出席された4人に名誉市民の称号と記念品を、5人の功績者に表彰盾を贈呈しました。



## 功績者表彰（9人）

片野 幸枝さん

市民の人権擁護ならびに人権啓発活動の普及など、人権擁護委員として多年にわたり人権擁護委員活動の充実に貢献

木村 幸子さん

旧日吉町身体障害者福祉会ならびに南丹市身体障害者福祉会日吉支部の地区役員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

田中 博さん

旧園部町社会福祉協議会ならびに南丹市社会福祉協議会の理事および副会長・会長として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

清水 玉彦さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

# 受賞者の皆さま

谷口 幸平さん

社会福祉法人「京都太陽の園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

福村 貴之さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

船越 日出美さん

社会福祉法人「京都太陽の園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

森 五月さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

八木 規子さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

スポーツ・文化賞表彰にて受賞された皆さんは、次号の4・5月号で紹介します



▲出席者の皆さんと記念撮影（左：名誉市民の皆さん 右：功績者の皆さん）

# 名誉市民の皆さま

令和元年12月20日、南丹市名誉市民条例の規定により、議会の同意を得て決定しました。受賞された4人には、南丹市初となる名誉市民の称号を贈りました。



故 藤林 益三 様

●明治40年8月26日生(平成19年4月逝去) / 日吉町出身

## 受賞理由

昭和45年7月に最高裁判所判事に就任。昭和51年5月から昭和52年8月まで最高裁判所長官を務められ、適正な裁判の実現と円滑な司法の運営に寄与されました。

## 受賞コメント(次男 藤林 道夫 様より)

父(藤林益三氏)は幼い頃に父を亡くし、大変な苦勞をしたと聞いています。しかしながら、生まれ故郷から、いまだに父のことを忘れずに良くしていただき、感謝しています。

父も今回の受賞を喜んでいていると思います。



故 野中 廣務 様

●大正14年10月20日生(平成30年1月逝去) / 園部町出身

## 受賞理由

園部町議会議員、園部町長、京都府議会議員、京都府副知事を経て、昭和58年8月に衆議院議員に当選。自治大臣・国家公安委員長、内閣官房長官、沖縄開発庁長官を歴任され、地方行政及び国政の中枢として長年尽力されました。

## 受賞コメント(長女 河合 多恵子 様より)

長年過ごした故郷から今回の表彰をいただき、父にも聞かせてあげたいと思います。亡くなってから父の話を聞く機会も多くなり、よく頑張ってくられたと実感しています。

市民の皆様には、何かの折りに父を思い出していただけただけならうれしいです。



馬淵 睦夫 様

●昭和21年1月21日生 / 八木町出身

## 受賞理由

外務省に入省後、駐キューバ特命全権大使や駐ウクライナ兼モルドバ特命全権大使を務められ、外交交渉や現地に滞在する自国民の保護など、世界を舞台に尽力され、外務省退官後も執筆や講演活動にご活躍されています。

## 受賞コメント

四季折々の村で育ち、風土や行事などの生活が私の基礎となっています。山や川がある里山は世界でも数少なく、そこで営まれる生活が市への貢献、日本の発展へとつながっていきます。今回の受賞と同時に、市民の皆さんも名誉市民であると感じています。



宮本 茂 様

●昭和27年11月16日生 / 園部町出身

## 受賞理由

任天堂株式会社に入社後、スーパーマリオやゼルダの伝説、ドンキーコングなどの人気ゲームの開発に携われ、代表取締役専務を経て、平成27年9月からは代表取締役フェローに就任。また、令和元年11月には文化功勞者として顕彰されました。

## 受賞コメント

私がもらって良いのかとお恥ずかしいですが、周りの皆でもらったものと感じています。世界中の皆さんに楽しんでもらえたことは幸運でした。自分が幼い頃に遊んだ山や川での体験、園部の空気が体に染みついてゲーム作りにつながっています。

▶市長へ誓いの言葉を贈る湯浅明日佳さん



▲記念品を受け取る大町哲也さん

◀式辞を述べる西村市長

# 「感謝と誇りと決意を心に刻み これからの人生を歩んでいきたい」

—決意を新たに251人が出席・令和2年南丹市成人式—

1月12日、国際交流会館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行。スーツや振り袖、羽織はかま姿の新成人が出席し、大人としての決意を新たにしました。また、来賓のほか、小・中学校時代の恩師も式典に出席され、新成人の前途を祝福しました。

今年の成人式は、平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの市内在住者370人と、市内小・中学校の卒業生などの希望者を対象に挙行しました。

西村市長は、「これからの人生のなかで、困難な局面に幾度となく出会うことになるでしょう。しかし、そんな時に人とのつながりは大きな支えとなり、前向きに取り組む基盤となります。『自分が必要とされている』と自信を持ち、皆さんの大切だと感じたつながりをより大きく育み、喜び多き人生を歩んでくださることを望んでいます」と式辞を述べ、新成人を祝福しました。

また、成人式実行委員の湯浅明日佳さんが新成人を代表して、「今年が東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国、民族、文化、宗教の違いを超えて世界が一つになる舞台です。私たちはこのような世界的イベントが開催される国の一員として、また、令和最初の新成人としての誇りを持ち、誰もが生き生きと生活できる日本社会、さらには国際社会の創造に貢献したいと考えています。これまで私たちを育ててくれた家族や親族、先生や地域の方々、そして何より友人への感謝

の気持ちと、ふるさと南丹市で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。  
式典後は旧友や恩師と久しぶりの再会を喜ぶとともに、近況や思い出話に花を咲かせていました。

## 成人式のワンショット



- ①会場の様子
- ②記念撮影
- ③なんたんテレビの取材に応える新成人
- ④旧友や恩師と談笑

## ふるさと納税の今後に期待

—ふるさと納税  
返礼品取扱事業者募集説明会—

2月13日、ふるさと納税の返礼品を取り扱う事業者に向けた説明会を市役所で実施しました。

市では、平成20年から「ふるさと南丹応援寄附金」を開始。平成30年からは百貨店の高島屋と提携し、ふるさと納税の返礼品を取り扱うポータルサイト「ふるさとチヨイス」に掲載し、運用してきました。この度、新たに窓口を広げようと「さとふる」と「さといい」を追加することとなり、返礼品を出



▲運用方法などの説明を聞く参加者



▲ワークショップで意見を交わす参加者

品する事業者に向けた説明などを行いました。

「さとふる」は会員登録数が340万人(令和元年12月現在)と、利用者が多いサイトとなっており、ふるさと納税収入の増加や返礼品を通じた市のPRなどに期待することができそうです。運用は4月中頃から開始を予定しています。

「さといい」は食事や宿泊などの体験型の返礼品のみを掲載するサイトで、納税された方には南丹市へ訪れてもらうことができます。

また、職種が異なる事業者らと肩を並べ、返礼品開発ワークショップを行いました。

●返礼品の登録は随時受け付けています  
地域振興課(TEL0771-6810019)

## 地域の子どもたちを元気に

—南丹市民生児童委員協議会  
臨時総会・全員研修会—

2月12日、南丹市民生児童委員協議会の臨時総会および全員研修会を南丹市国際交流会館で開催しました。総会では新役員での体制が承認されました。

市長は「複雑な福祉制度は行政職員でも理解するのに時間がかかることがある。一人で悩まず疑問があれば、行政に頼ってほしい」と述べられました。

総会後は研修会が開催され、委員の皆さんが講師の話に耳を傾けていました。



▲総会で承認された新役員ら



▲軽快に話す岡元さん

## 先進事例に学ぶ徴収の戦略

—債権管理研修会—

1月17日、市役所で税金などを徴収する職員に対し、債権管理研修会を開催しました。寝屋川市役所で長年滞納整理に取り組み、「地方公務員が本当にすごい!」と思う地方公務員アワード2018を受賞された岡元<sup>わかもと</sup>譲史<sup>じょうし</sup>さんを講師に招き、「滞納整理の価値と戦略」をテーマに講演いただきました。

講演では、岡元さん自身が経験された差押現場での話やスキルアップの方法などを交えながら、「滞納がないという当たり前の状況をつくるのが大切だ」と話されました。

# 活躍する南丹市の人びと

市民の皆さんが活躍する南丹市に――。

このコーナーでは、まちづくりにおけるさまざまな分野で活躍される市民の皆さんを紹介します。

## 地域学校協働活動に尽力

文部科学大臣表彰 受賞

### 摩気高山子ども未来塾

12月2日、南丹市園部町の摩気地区の住民でつくるNPO活動法人「摩気高山の郷振興会」と南丹市教育委員会が旧摩気小学校で開いている摩気高山子ども未来塾が、地域学校協働活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けられました。

摩気高山子ども未来塾は、小学校が廃校になっても地域で子どもを見守り続けたいという住民の声を基に、国や京都府の補助金制度を活用して開設されました。小学1年生から6年生までを対象に、本物に触れる感動ある体験を目指し、多くの外国人を迎える国際交流会をはじめ、知的好奇心に迫るさまざまな授業を用意され、国語・算数・理科を中心とした本科授業



▲市理事者らに受賞報告をする摩気高山子ども未来塾の皆さん

を年間11回と、キッズイングリッシュを年間34回開催しています。現在、本科授業を60人、キッズイングリッシュを19人が受講しています。

NPO活動法人摩気高山の郷振興会理事長の谷義治たによしぢさんは、「今まで培ってきた地域力によって受賞できたものだと思う。これからも子どもたちを見守っていききたい」と話されていました。

## 京都府青少年健全育成に尽力 京都府知事表彰 受賞

### 南丹市ス。ポーツ少年団

11月27日、南丹市ス。ポーツ少年団が京都府青少年健全育成成功労者等表彰式で、京都府知事表彰を受賞されました。同少年団にはサッカーや野球などの22団体、約500人の小学生が所属しており、地域に根ざした活動や平成26年に立ち上げた約150人の指導者らでつくる協議会での活動などが評価されました。



同少年団本部長を務める中村裕予なかむらゆうよさんは、「合併以前から積極的に活動をされてきた指導者や皆さんのおかげです」と受賞の喜びを語りました。

また、近年は子どもの運動嫌いやゲームに熱中する子が多いと言われる中、「生涯スポーツという観点から、将来大人になって高齢者になるまでの基礎的な体づくりとしてスポーツに触れてほしい。特に、ゴールデンエイジと呼ばれる運動能力が発達しやすい5歳から12歳までにはさせてあげたい」と今後の子どもたちへの思いを話されました。



▲西村市長(中)と木村教育長(左)へ受賞報告する中村本部長(右)

**長年にわたり選挙管理に尽力  
総務大臣感謝状 受賞**

南丹市選挙管理委員会

田中 貞雄さん



昨年は、明治22年2月11日に衆議院議員選挙法が公布されてから130周年に当たる年でした。

これを記念して、多年にわたり選挙の管理執行に精励し、または選挙制度の研究および普及など民主政治の確立のために尽くし、顕著な功績を挙げられた方々に対して、総務大臣感謝状が贈呈されることとなり、南丹市選挙管理委員会委員長を務める田中貞雄さんが、その受賞者に選出されました。

12月7日、京都府公館にて、その伝達式が開催され、京都府選挙管理委員会の梅原勲委員長(当時)から感謝状が授与されました。

田中さんは平成16年7月から日吉町選挙管理委員会補充員に就任され、合併後は南丹市選挙管理委員会委員に就任されました。平成30年3月からは委員長を務められ、現在も活躍いただいています。

各種選挙においては、選挙長や開票管理者として厳正な選挙事務の管理執行にご尽力されているほか、選挙期間中に自ら街頭に立ち、有権者へ投票を呼び掛ける啓発活動にも精力的に取り組まれています。



▲梅原委員長(右)から感謝状を受け取る田中さん(左)

**交通事故防止や啓発に尽力  
全日本交通安全協会 会長表彰受賞**

1月22日、第60回交通安全全国民運動中央大会で、南丹船井交通安全協会南丹支部が交通安全優良団体、美山小学校が交通安全優良学校として会長表彰を受賞されました。

**南丹船井交通安全協会**

**南丹支部**

南丹船井交通安全協会南丹支部では、交通事故防止を目的に、交通安全運動週間には、パレードや街頭啓発などを実施され、年間を通じて事故の防止を皆さんに呼び掛けておられます。



▲役員の方々と記念撮影

八木治支部長は、「今後も交通事故を未然に防ぐため、活動してまいります」と、話されました。

**美山小学校**



▲木村教育長へ報告する村田校長(左)

美山小学校では、子どもたちへの交通安全教室や自転車教室、PTAや警察などが連携した登下校指導、あいさつ運動などを実施されており、学校再編以前からの取り組みを継続され、長年にわたる活動が評価されました。

村田富三昭校長は「今後も活動を通して、安心安全の学校づくりをしていきたい」と話されました。



この道☆ひと筋

# 秋の叙勲 高齢者叙勲 受章者

昭和49年から養豚経営を開始し、昭和56年には有限会社日吉ファームとして法人化され、代表取締役社長に就任。平成12年から6年間で平成27年からは京都府養豚協議会会長、平成24年から一般社団法人京都府配合飼料価格安定基金協会の理事を務められ、45年の長きにわたり



「畜産業振興と  
食文化の推進に尽力」

## 旭日単光章

きたがわ つとむ  
北側 勉さん

(日吉町・71)

畜産業の振興に寄与されました。とりわけ、平成12年に設立の京都府養豚協議会では初代会長の就任されるとともに、協議会のブランドである「京都ぼーく」の品質や管理などに尽力されました。また、豚に与える飼料に食品残さ、特にパンくずを混合させるなどの方法を確立され、臭みがなくなり甘さが増すなど、購買者からの評価が高い豚肉の生産に心血を注がれました。

今回の受章に際し、北側さんは「思わぬ受章で驚いたが、自分の行いが実ってうれしい」と話されました。また、「食のブームと言われる中、自分が作ってきたものがあちこちで紹介されている。成果が実ってうれしく思うとともに関係の皆さまに感謝したい」と話されました。



「文化・芸術・スポーツ  
教育行政の推進に尽力」

## 瑞宝小綬章

こじま かずお  
小嶋 一夫さん

(園部町・88)

昭和29年に京都府立図書館に勤務の後、昭和38年から昭和61年まで旧府立総合資料館（現・京都学・歴史館）にて勤務され同館の次長を歴任されました。

在職中は、図書や行政資料、古文書などの収集や整理などを担い、後に国宝、そして世界記憶遺産となる「東寺百号文書」の公開やマイクロ化事業などに携わられました。また、

昭和61年から3年間は京都府企画管理部文化芸術室長を務められ、第43回国民体育大会（京都国体）のスポーツ・芸術部門を担当されたほか、平成元年から1年間は府立総合資料館館長として文化財行政の推進に尽力されました。退職後の平成3年からは旧園部町教育委員、平成6年から5年

間は教育長として、園部・園部第二小学校の建設や小学校の完全給食化などに取り組みました。

小嶋さんは「好きな分野に通じた仕事ができ、仕事仲間や家族の支えがあったからこそ、今回、受章につながった。大変ありがたく思っています」と話されました。

### ☆叙勲は栄誉のしるし☆

勲章は、国家や公共に対して功勞のあった方に国から授与される記章のことで、春秋叙勲のほか、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、死亡叙勲などがあります。

春秋叙勲は年に2回、4月29日と11月3日付けで授与されます。また、死亡叙勲は勲章授与の対象となるべき方が死亡された場合に、春秋叙勲とは別に随時勲章を授与されま



## 南丹市景観計画について

景観計画区域  
南丹市美山町地域



南丹市では平成26年4月1日から、景観条例（平成25年12月20日条例第23号）を施行しています。

この条例は、市内の地域に景観計画区域を定め、建築物や工作物の新築や移転、屋根や外壁の塗り替えなどの行為に対して、形状や色彩に一定の基準を設け、南丹市のもつ素晴らしい景観を守っていくための条例です。

南丹市では現在、美山町地域を景観計画区域に定めています。下記の概要もご覧いただき、景観に対してご理解とご協力をお願いします。

また、地域の景観を守るための市民活動の情報がありましたら、地域振興課までお知らせください。

## 景観の小窓



～紹介編～

## 南丹市景観条例 ～基本理念～

### 「市民も来訪者も“ほっ”とできる癒しのまち 南丹市」

住む人が「ここに住んで良かった」「いつまでも住み続けたい」と愛着と誇りを持ち、訪れた人々が「また訪れたい」「ここに住んでみたい」と感じる魅力ある景観の形成を目指します。

## 景観計画の対象区域：美山町地域全域

### 届出の対象となる行為

#### 屋根や壁の塗り替え等

外観を変更することとなる修繕  
若しくは模様替えまたは色彩の変更

変更する部分の面積が  
正面から見て10㎡を超えるもの

#### 建築物

新築・増築・改築・移転

全て届出が必要

#### 工作物

新築・増築・改築・移転・色の塗り替えなど

高さが8mを超えるもの又は  
築造面積が8㎡を超えるもの

※土地の形質変更や屋外での物件堆積も、一定の基準を超えると届出が必要です。

## 南丹市景観形成基準(守ってもらう基準:建築物について)

◆建築物の屋根、外壁の色彩は、下記に示したマンセル表式系で示した彩度、明度の範囲とします。ただし、外壁を正面から見て10%未満のアクセントカラーの部分はこの限りではありません。

	使用する色相	彩度	明度
屋根	赤(R)・黄赤(YR)・黄(Y)	2以下	1～6
	青緑(BG)・青(B)・青紫(PB)・		
	紫(P)・赤紫(RP)		
	無彩色(N)		
外壁	赤(R)・黄赤(YR)・黄(Y)	6以下	1～9
	青緑(BG)・青(B)・青紫(PB)・	2以下	
	紫(P)・赤紫(RP)		
	無彩色(N)	—	

※マンセル表式系とは…色彩を、色の三属性（色相・明度・彩度）によって表す数値。

高さ

15m以下

形態・意匠等

周辺の景観と調和  
したものとする

緑化・植栽

敷地内の緑化に  
努める

門・塀・柵

自然景観や街並み  
景観に配慮する

【景観条例についてのお問い合わせ先】

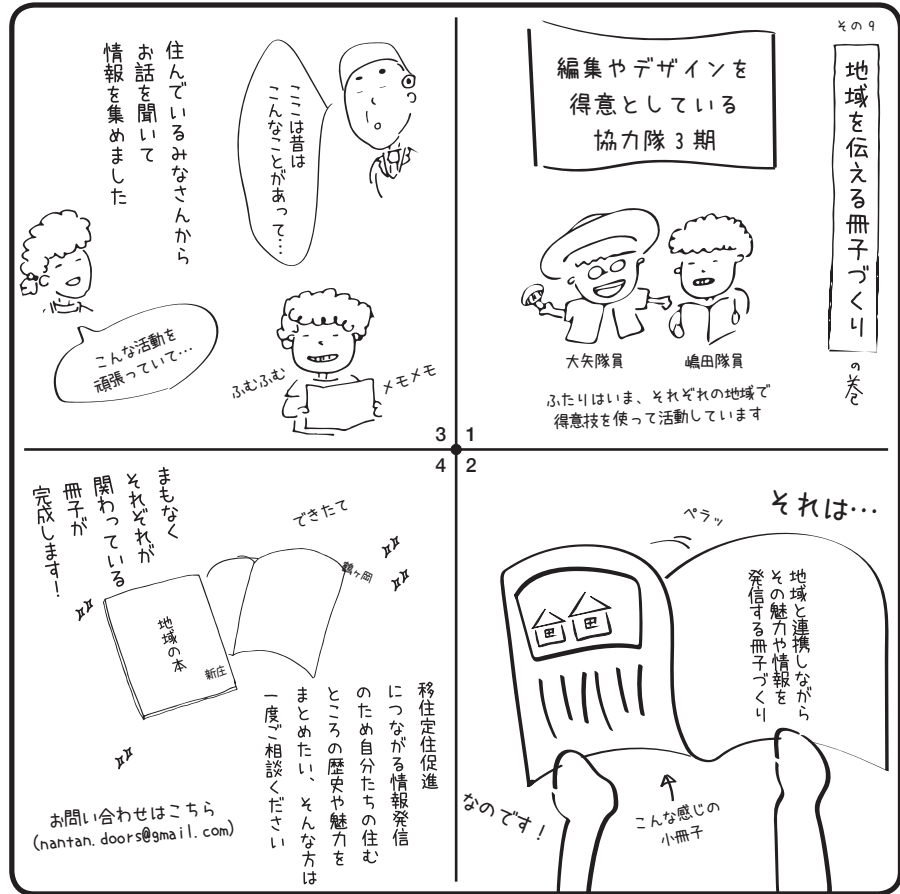
南丹市役所 地域振興部 地域振興課 TEL: 0771-68-0019

南丹市HP 南丹市景観計画について(詳細パンフレットあり)

URL: [http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/shisei/106/002/001/index\\_12732.html](http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/shisei/106/002/001/index_12732.html)

# よんコマなんたん協力隊

その9



イラスト・大矢隊員

## ◎『南丹辞典』収録の南丹を知る言葉

### ツバメ(つばめ)

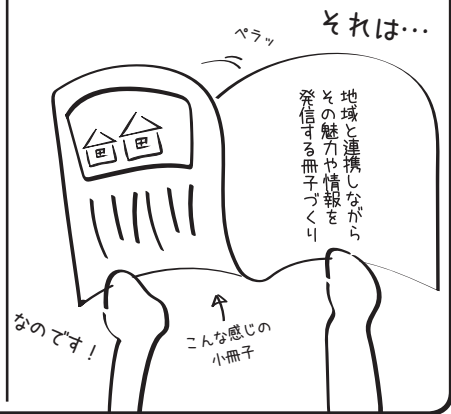
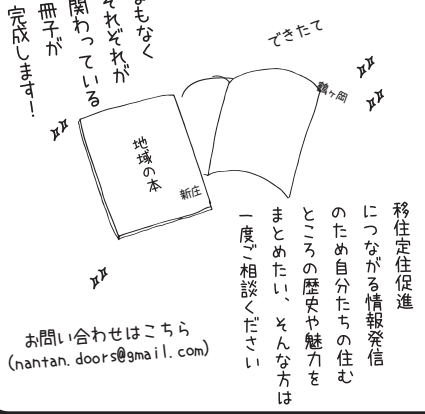
四月ごろ渡ってくるツバメはなぜか人家に巣をつくりたがる。古い家では縁起のよい鳥として大事にすることが多い。美山では、ツバメ専用の窓が玄関扉の上部に空けてある家まであった。

## ◎協力隊ニュース

地域おこし協力隊が南丹市全体の魅力を掘り下げて、発信していく媒体「NANTAN」の企画が動きだします。

南丹市を歩き回って、出会った人や場所を記録していく冊子になります。協力隊とわかるように目印をつくりますので道で見かけられた際はぜひお声がけください。

お問い合わせ先・南丹市地域振興課  
Tel(0771)6810019



## 福祉とわたし<sup>39</sup> <<<for our happiness>>>

福祉は、私たち一人ひとりが幸せに暮らすためにあります。

### 高齢者と幼児とのふれあいから育まれる福祉のこころ

市立園部保育所の5歳児クラスでは、年に5回程度、地域の高齢者の方々と交流しています。一緒に工作をしたり、体を動かして遊んだりするうちに、お互いに打ち解けて、笑顔が溢れています。



▲一緒にものづくりに取り組みます

この交流を一緒に企画、運営しているのは、「NPO法人りばてい」です。高齢の方々の居場所づくりを主な目的として、園部保育所に隣接する北部コミュニティセンターを拠点に活動されています。子どもたちは、自身の言葉や、しぐさ、行動をありのまま受けて



▲素敵なクリスマスリースができました

もらえる高齢者の方々との交流を通じ、心の安定を得られ、自己肯定感をもち、生きる力の基礎である主体性を育んでいきます。

りばていや参加者の方々からは、園児の元気に触れ、笑顔に溢れています。また、園児たちから「りばていさん」と呼んでもらえること、園児が成長し、その意味を知ってもらえることを楽しみにしているという声も聞きます。

世代間交流を通じて、子どもたちをはじめ関係者が、福祉のこころを育み、地域福祉の担い手の輪が広がることを期待されます。

子育て支援課  
Tel(0771)6810017

食は、

まぢぢら、  
まぢぢら、  
まぢぢら



-40-

### 男の料理教室

#### 〔胡麻地域まちづくり協議会〕

胡麻地域まちづくり協議会は、南丹市日吉胡麻基幹集落センターを拠点とし、地域情報を発信するとともにコミュニケーションづくりを図ることを目的として活動されております。

#### ◆男の料理教室

全3回で開催され、今年度は

【美味しい珈琲の淹れ方教室】

【子供が喜ぶおやつ教室】

【魚の鮮度の見分け方・さばき方教室】を計画されております。



▲山下氏の説明を聞いている様子

#### 〔おやつ作りに挑戦〕

1月19日に子どもが喜ぶおやつ教室が開催されました。講師に地元のカフェ「べんべん」の山下彩子さんを招き、約10名の参加者がホットケーキミックスマフィンとアイスボックススクッキーづくりに挑戦されました。

ホットケーキミックスマフィンは、生地をカップの7分目まで注ぎ、180度のオーブンで約20分焼きます。

アイスボックススクッキーは生地を棒状にし、ラップに包んだ状態で冷凍庫で冷やし、5ミリ程度に切ったものを180度のオーブンで約15分焼きます。

今回は、ホットケーキミックスマフィンにレーズンを加え、アクセントをつけました。

講師の山下さんのように上手にかき混ぜることができず、参加者からは「家では台所に立つことがない」「料理は食べることが専門だ」と口ぐちに述べておられました。完成した際は大きな歓声が上がりました。



▲交代しながら生地づくりに挑戦

#### ◆みんなで試食

できあがったおやつは机を囲み、参加者で団らんをしながら試食をしました。

「料理は大変なので、これからは感謝の気持ちでいただくようになります」「自分で作った手間の分、味は格別においしい」と好評でした。



▲焼きあがったおやつ



#### ◆今後の展望

今回は、普段、調理をされない男性が、調理体験や試食を通して、交流する機会となりました。「今後は地域に住む子どもたちとその家族にスポットを当て、子育て世代が集える場をつくっていきたい」と展望も新たにされておりました。

市では、今後も食を通じた地域づくりの取り組みが広がるよう、応援していきます。



▲出来上がったおやつを試食する参加者

問い合わせ先  
南丹市食育推進委員会  
(事務局・保健医療課)  
TEL (0771) 68-0016

# いきいき南丹

-96-

お元気ですか？  
栄養士です。



老化の加速にブレーキを！

## 今日から始めよう「低栄養予防」

「低栄養」という言葉を耳にされた事はありませんか？食が豊かになったこの時代に、「栄養不足になるはずがない！」と思いがちですが、実は偏った食事の取り方によって、栄養の足りない状態・低栄養になる人は、少なくありません。特に高齢の人は定期的に体の状態を確かめ、低栄養を予防することが大切です。

### 低栄養になると、どうなるの？

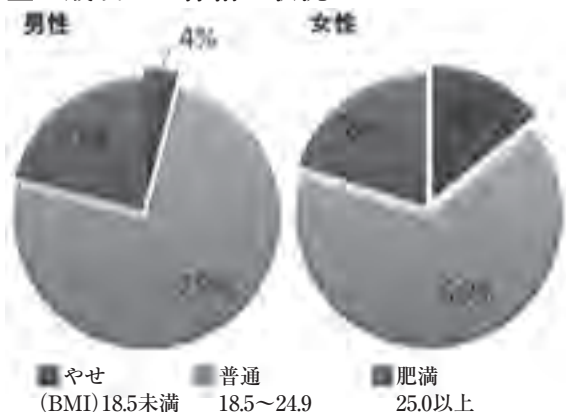
血中のアルブミン（たんぱく質の一種）の値が低くなり、まず体重減少として現れます。このような状態になると、体の老化が加速してきます。

老化が進むと、抵抗力や筋力の低下が起こり、寝たきりや閉じこもりの原因にもつながっていきま

### 南丹市の現状

南丹市で実施しています、すこやか健診（75歳以上）の受診者895人の体格の状況は、左図のとおりです。やせの判定は男性で4%、女性で14%見られました。男女あわせて約1割弱となりました。

### 75歳以上の体格の状況



### 低栄養予防の食生活チェック

自分自身の状態をチェックして、生活習慣を見直しましょう。いつもの習慣を少し見直すだけで、元気で長生きする生活につながります。

#### ① 体重の変化でチェック✓

「やせ」の方は低栄養になりやすいと言われていきます。特に6カ月間で無意識のうちに**体重が2〜3kg減っている人は、注意しましょう。**

#### ② 食事の習慣でチェック✓

- 食事を抜くことがある。
- 炭水化物（うどん・パン）のみで食事を済ませることがある。
- 肉・魚・卵をあまり食べない。
- 牛乳・乳製品を毎日食べない。
- 歯や口の中の具合が悪く、食べる事に支障がある。

#### ※ チェックが多いほど注意が必要

### 予防のための食事のポイント

年齢と共に、食事の量も減少してきます。少量でもさまざまな食品群を取り入れる事が、低栄養予防につながります。「たくさん」より「まんべんなく」を意識

しましょう。

毎日の食事で、10食品群をまんべんなく食べて、バランスのよい食生活を送りましょう。

**10食品群の1日の目安**

<p><b>肉</b></p> <p>1日の目安は 薄切り肉3枚程度</p>	<p><b>牛乳・乳製品</b></p> <p>1日の目安は牛乳200ml またはヨーグルト1個と チーズ1個程度</p>	<p><b>野菜</b></p> <p>毎食積極的に摂取を</p>
<p><b>卵</b></p> <p>1日の目安は1個</p>	<p><b>大豆・大豆製品</b></p> <p>1日の目安は 豆腐なら1/3丁、 納豆なら1パック程度</p>	<p><b>果物</b> <b>いも</b> <b>海藻</b></p> <p>1日に1回は摂取を</p>
<p><b>魚</b></p> <p>1日の目安は 1切れ(70g)程度</p>	<p><b>油脂</b></p> <p>1日に1回 油を使った料理を</p>	

問い合わせ先 保健医療課  
TEL(0771)68-0016

## 「異年齢集団で育つ心」

**園** 部第二小学校では、全校児童を三つの色に分け、6年生を班長とした異年齢集団活動「なかよし班活動」を行っています。活動内容は、なかよし班遊びや運動会での色別競技、大縄大会などですが、さまざまな場面で6年生が中心となることでリーダーシップや自己肯定感を育てるための取り組みとして毎年実施されています。

**先** 日行われた大縄大会では、6年生だけでなく上級生が下級生を思いやる場面がたくさん見られました。朝活動の練習が始まる前には、6年生が必ず1年生を迎えに行きました。大縄練習では、高学年の子が低学年の子に跳び方のコツを教えたり、上手に背中を押してあげたり、跳びやすくするために縄の回し方をゆっくりしたりしていました。また、誰かがひっかかったり、跳んだ回数が少なかったりしても「次は頑張ろうな」とか「もうちょっとで跳べるぞ」という声かけが各班から聞こえてきました。得意な子もそうでない子も、そして学年関係なく互いに声をかけ合いながら各班の団結力を高めることができました。

## ま

た、なかよし班遊びでは6年生がリーダーとなり、自分たちの班の遊びの内容を考えて遊びをします。どの班も、楽しんでいたり、仲良く遊んだりするほのぼのとした様子が見られました。

## 異

年齢との行動を共にすることにより、自他との違いを考え、互いを尊重する気持ちが生まれています。これからも、引き続き異年齢集団での活動を核とした取り組みを進める中で、自分そして友達を大切にできる『そのつこ』を育んでいきます。



(園部第二小学校人権教育主任 今面良子)

## ふ・れ・あ・い



—第41回—

### AV出演強要問題および「JKビジネス」問題

近年、若年層の女性を中心として、アダルトビデオ出演強要問題や「JKビジネス」問題が発生しています。

特に4月は、進学や就職などに伴い若者の生活環境が大きく変化する時期であり、こうした被害に遭うリスクが高まるとされています。

「JKビジネス」問題とは、健全な営業を装って女子高校生などを勧誘し、性的なサービスなどを提供させる問題です。この問題では、本人の危険性に対する認識が低い、学校や家庭に居場所がない、JKビジネスで働いていることを学校や保護者のほとんどが知らないなどの特徴があります。

アダルトビデオ出演強要問題・JKビジネス問題については、内閣府において毎年4月を被害防止月間として位置付け、啓発サイトにおいて主な事例や相談窓口を紹介しています。

また、映像・画像がネットで流出する二次被害に悩んだり苦しみ続けるのは、アダルトビデオ出演強要問題やJKビジネス問題だけでなく、「リベンジポルノ」においても同じです(リベンジポルノとは、性的な画像などをその撮影対象者の同意なく、インターネット上で公表する行為のことです)。

軽い気持ちでの撮影、送信は取り返しのつかない事態を招きます。親しい間柄でも一線を引くことが大切です。

### AV出演強要・JKビジネス等の相談窓口

- ◆京都府警察本部  
電話：075-451-9111
- ◆警察相談専用ダイヤル  
電話：#9119

最寄りの警察でも相談可



## レファレンスサービスって?

「調べもののお手伝いをお願いします」

レファレンスサービスという言葉をご存じですか? 簡単に言うと、利用者さんの調べものの相談にのるサービスのことで、調べものという堅苦しく聞こえるかもしれませんが、例えば「今やっているドラマの原作本ってある?」や「捕まえた虫の飼育方法を知りたい」というような日常の疑問もレファレンスです。図書館員はそういった疑問が解決できるように、資料を探してお手伝いをします。ぜひお気軽にお尋ねください。ただし、お答えできない質問も承りますので、あらかじめご了承ください。

## 新刊紹介

『ねこなんていなきゃよかった』

作…村上 しいこ  
絵…ささめや ゆき  
発行…童心社



天国に行ってしまった猫のももちゃん。飼い主の女の子は本当はももちゃんが大好きなのに、猫なんてははじめからいなきゃよかったと考えてしまいます。

『魔法のたいこと金の針』

作…茂市 久美子  
画…こみね ゆら  
発行…あかね書房



昔ながらの仕立て屋さん平井洋裁店にやってきたのは、なんと鬼の子。破れたたいこを直して欲しいというのですが…。不思議なお客さんが訪れるお話四編が収録されています。

## 暮らしを ホッと



—第66回—  
消費生活情報  
「フリマサービスの  
トラブルに注意」

### フリマサービス 「トラブルは個人間で解決」

(独)国民生活センター  
見守り新鮮情報  
第349号などより

**事例1** ブランドのバッグを出品し、商品を送付した後、代金を受け取ったが、「バッグは偽物だったので返金するように」と連絡があった。バッグは正規店で購入した本物だ。フリマサイトに相談したが、自分たちで解決するようと言われた。(60歳代女性)



**事例2** フリマアプリに洋服を2万8千円で出品し、購入者に発送したが「商品が届かない」と苦情を受けた。アプリ運営事業者に対応を求めても回答が遅く、購入者から商品発送を求められ困っている。(30歳代女性)

が「偽物だ」「いや本物だ」、「商品が届かない」「送った」などのトラブルが起きています。

**利用規約をよく読んでから  
利用しましょう**

●フリマサービスでの取引は、基本的に売主と買主との個人間の取引です。利用規約では、トラブルは当事者間で解決するように求められていることをよく理解しましょう。

●利用する際は、利用規約をよく読み、サービスの仕組みや禁止行為などについても理解しておくことが大切です。

●当事者間で話し合っても、運営事業者に相談しても、交渉が進まない場合は、問題点の整理などを行うため、消費生活相談窓口などに相談しましょう。

- 消費者ホットライン  
Tel 188 (いやや!)
- 南丹市消費生活相談窓口  
Tel (0771) 68-0100  
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)  
午前9時～午後4時
- 京丹波町消費生活相談窓口  
Tel (0771) 82-3803  
水曜・木曜(祝日は休み)  
午前9時30分～午後4時

●購入者と出品者の中で、商品  
ひとつと助言

(商工課)

活動の様子(1/18)



オカリナにはさまざまな種類があります。



皆で音を合わせる練習をします。

一緒に奏でてみませんか

「らべんだ〜ず オカリナ アンサンブル」は会員を募集しています。

毎週土曜日に「日吉町生涯学習センター」で活動しています。

オカリナ大好き人間が集まり、楽しくワイワイとやっています。

楽譜が読めなくても大丈夫です。初心者大歓迎でお待ちしています。見学もぜひ来てください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会 園部事務所  
TEL : (0771)62-4125



聴く人に感動を届ける

〜らべんだ〜ず オカリナ アンサンブル

オカリナ演奏グループ「らべんだ〜ず オカリナ アンサンブル」は日吉町で行われた生涯学習をきっかけに結成されました。現在は女性12名で活動されています。中には京丹後市在住の方も在籍されており、市内外問わず幅広く活動されています。

練習は毎週土曜日に日吉町生涯学習センターの一室を利用し行われており、月に数回ほど福祉施設や南丹市文化祭などのイベントで演奏されています。

メンバー全員がオカリナ未経験だったとのことで、先生の教えを受けながら、グループ練習を行い、練習日以外でも自宅で個人練習に励んだそうです。

クラシックや演歌など、幅広く演奏されており、毎年1月頃には



▲「夏のボランティア体験」にて演奏するメンバー

必ず新曲を決め、7月に開催するコンサートでお披露目します。メンバーは「新しい曲にチャレンジしたり、皆と音を合わせたりする

のが難しい」と苦勞を話されました。しかし、「苦勞するからこそぴったり音があつた時はとても嬉しかったり、自信が付いたりする」と苦勞が故の喜びを語られました。また、演奏後に涙を流して感動しているお客さんがいたり、「すごく良い演奏を聴きました。また来ます」と言われたときは、一生懸命に練習してよかったと実感されるそうです。

「これからもいろいろな曲にチャレンジしたい」とメンバーは目標を語られました。

オカリナ好きが集まる「らべんだ〜ず オカリナ アンサンブル」の皆さん。これからもオカリナが奏でる澄んだ音色が、聴く人に感動をお届けすることでしょう。

# みんなのひろば

まちの話題を紹介します



## 「冬の大堰川で心も体もあつたまる」

1/26 2020年南丹市大堰川ジョギング大会

1月26日、冬の恒例行事となった2020年南丹市大堰川ジョギング大会が八木運動公園周辺で開催されました。

南丹市体育協会が主催され、2.3kmと5kmの部、公園内1.5kmを走るファミリージョギングの部があり、日頃スポーツ少年団で活動する小・中学生のほか、一般の方や体力自慢の高齢者ら約230人が参加しました。スタートのピストルが鳴ると同時に、参加者は一斉に駆け出し、八木の町を颯爽と駆け抜けました。

走った後は、地元産の野菜や企業から提供いただいた食材を使った「大堰川なべ」が振る舞われ、冬の八木町を全身で満喫しました。



▲一斉にスタートを切る参加者



▲包丁で麺を切る参加者

まちなかの店主たちにプロならではのコツを無料で教わることができる「まちゼミナール」が、健康や食、ものづくりなど、それぞれの店舗で取り扱う32のテーマで開催されました。

園部まごころステーション「陽だまり」では手打ちうどんの体験講座が行われ、参加者は小麦粉から完成までの工程を体験し、「家でもできる」と自信が付いた様子でした。

布安商店では魚のさばき方講座が行われ、参加者はアジを三枚におろしてお造りにするまでの工程を体験しました。



▲完成したお造り

## 「プロから技を学ぶまちゼミを開催」

2/13/29 第2回南丹まちゼミナール

## 「学生らに教わって体験し、交流する」

2/8

南丹市学生交流プロジェクト「明治国際医療大学視察ツアー」



◀ホットパックを体験する参加者

2月8日、明治国際医療大学と地域住民との交流を目的に、南丹市学生交流プロジェクト「明治国際医療大学視察ツアー」を市と大学で共催しました。地域住民ら約30人の参加があり、日頃、学生が学んでいる鍼灸や柔道整復、救急救命学科の内容を、参加者に公開されました。東洋医学の健康法やツボの知識が披露されたほか、温めて治すホットパックや心臓マッサージの体験がありました。

また、交流会では大学が行う地域連携の紹介や地域住民の活動紹介などがあり、互いに交流を深めました。





▲チラシ作りのポイントを話す3人の講師(右)と進行を務めたNPO法人テダスの田中利彦さん(左)

2月4日、第8回市民活動団体交流会を市役所で開催しました。

チラシ作りをテーマに、わざどころPONの藤村香菜子さん、ワタリドリ写真部の村上直代さん、地域おこし協力隊の嶋田翔伍さんが講師となり、講演が行われました。情報集めやターゲットの設定、デザインなど、チラシ作りのノウハウについて話されました。その後は講師3人と参加者を交えてのトークセッションがあり、参加者は、過去に作成したチラシを講師に見てもらいアドバイスを受けていました。

(2/4) 第8回市民活動団体交流会

## 「効果的なチラシ作りの方法を伝授」

1月25日から2月1日にかけて、冬の風物詩となった第15回 美山かやぶきの里 雪灯廊が開催されました。22棟のかやぶき民家がライトアップされ、幻想的な光景を一目見ようと、多くの観光客が訪れました。

全国的な暖冬が影響し、積雪がない状態となったため、今回は雪で灯籠を作る体験ができなくなってしまいましたが、観光客らは集落内を歩いたり、カメラで撮影されたりするなど、思い思いの時間を過ごしました。



▲ライトアップされたかやぶきの里

(1/25) 2/1 第15回美山かやぶきの里雪灯廊

## 「暗闇に照らされるかやぶきの里」

## 「絵本とクリスマスが楽しくなる」



▲夢中でポシェットを作る子どもら

12月15日、中央図書館で冬のお楽しみ会が開催され、30人の親子らが参加しました。クリスマスに関連した『いろいろクリスマス』『ハリネズミと金貨』の読み聞かせがあり、子どもたちは目を輝かせながら、絵本の世界に引き込まれていました。

その後は、フェルト生地やリボンなどを使ったクリスマスポシェット作りがあり、飾りのデザインなどを親子で考えながら作業しました。完成すると、「サンタさんのプレゼントが楽しみ」と喜びの声があがっていました。

(12/15) 冬のお楽しみ会

## 「モデルに聞く『美しく生きる』秘訣」

12月7日、クアスポくちたん(京都府立口丹波勤労者福祉会館)で第10回クアスポ祭りが開催され、モデル・タレント、トライアスロン選手として活躍中の道端カレンさんが「美しく生きる」と題して講演されました。道端さんは「京都丹波トライアスロン大会in南丹」にも2回、出場されています。

一問一答形式で進められた講演では、美しさの秘訣や食事、子育てなどの話題がありました。運動では「ハードルが低いところから始め、楽しく続けることが大事」と話されました。



▲質問に答える道端さん

(12/7) 第10回クアスポ祭り

# なんたんミュージアム

—78—

## —南丹市立八木西小学校—

※担任の先生、担当教科の先生の  
講評を掲載しています。

「木ラノザウルス」

吉田 夏樹さん (3年)



▲設計図を基に、釘の打ち方や木材のつなぎ方を工夫し、自分の作品を作り上げることができました。

「保育士」

廣瀬 柚季さん (6年)



▶将来を具体的にイメージし、赤ちゃんを抱いている所や保育士らしい服装を上手に表現することができています。

「自然と人」

森口 愛紗陽さん (5年)



▲鏡に映すと、滝が立体に見えるように構成を考え、水が流れ落ちている場面を表現できています。

「水えいがんばったよ」

山本 歩夢さん (2年)



▲水面に上がってくる様子と躍動感が伝わるように、水しぶきや力強い腕などで表現しました。

わが家のアイドル

●園部町

小西 真緒ちゃん (8カ月・右)  
野口 凛ちゃん (8カ月・左)



「7月29日に2時間差で生まれたお友達。  
すくすく元気に大きくなってね♡」(父・母より)

### 編集後記

大河ドラマ「麒麟がくる」が始まり、南丹市の歴史も注目が集まることが期待されます。より一層、広報活動に励みたいと思います。  
インフルエンザだけでなく、新型コロナウイルスの感染が心配されます。手洗いがいを徹底し、体調管理に努めてください。(M)

(お詫びと訂正)

広報なんたん12・1月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◇16ページ…3段目「令和元年度戦没者追悼式」開催日

(誤)10月24日(正)10月21日



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと

南丹市



●総人口：31,475人(-36)  
(男：15,238人・女：16,237人)  
(-8) (-28)  
●世帯数：14,220世帯(-17)  
(令和2年2月1日現在)  
( )内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは秘書広報課まで

広報  
なんたん

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653  
URL: <http://www.city.nantan.kyoto.jp>  
e-mail: [hisyo@city.nantan.lg.jp](mailto:hisyo@city.nantan.lg.jp)



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。